



いちいの会 だより

平成30年
48号

発行/社会福祉法人 いちいの会 <http://www.ichiinokai.com/>

ICHIINOKAI VOL. 48



暑中お見舞い
申し上げます



サッカー日本代表に負けないチームプレーを <すのき苑副施設長 大谷 篤司

4年に一度のワールドカップイヤーがやってまいりました。サッカー日本代表は素晴らしい躍進をし、私達に感激と感動をもたらしてくれました。

日本代表メンバーは、国内外のクラブチームに所属し、試合の直前に招集され、少ない準備と試合を重ねながらひとつの目標に向かっていくわけです。限られたその時間の中、日の丸を背負う重圧とプレッシャーを抱えながら、チーム力とパフォーマンスを最大限に引き上げていく作業は、ものすごく大変なのだろうと思います。

ロシアW杯の日本代表には、選ばれた23人の選手以外にも、沢山のスタッフが帯同しています。コンディショニングコーチ、料理人や医者等、様々なスタッフが選手たちが最高のパフォーマンスが出来るようにと想いを込めてサポートしています。

私達がこうして仕事をする事ができるのも同じではないでしょうか。職場の仲間・家族・友人・行きつけのラーメン屋さん・かかりつけの医者。沢山の人が、私をサポートしてくれています。しかし、それが当たり前になり、感謝をすることが少なくなっているのかもしれない。

最高のラーメンを作ってくれるマスターに、何時もおいしい料理を作ってくれる妻に、こんな私を支えてくれる信頼する職場の仲間、笑顔で語りかけてくれる利用者の方たちに、もう一度私達の周りにいてくれる沢山の人の「ありがとう」と感謝の気持ちを伝え、支えてくれる人たちに応えるためにも、最大限のチーム力とパフォーマンスを発揮していかなくてはなりません。そして、日本代表に負けない熱い気持ちとプライドを持って仕事に邁進していきたいと思っています。

●目次●

- ◇副施設長より..... 1
- ◇さがみ野ホーム見学
苑内研修 2
- ◇食品加工班
ワークショップくすのき
..... 3
- ◇旅行いろいろ..... 4
- ◇行事いろいろ
職員日記..... 5
- ◇そうめん大会
GH BBQ大会
行事報告
編集後記..... 6



去る6月21日、くすのき苑改修プロジェクトチームの一員として 高齢者のみを利用者とするさがみ野ホームにおいて今後参考になる施設、設備、運営等を見学させていただいた。

さがみ野ホーム到着後、集会室においてパワーポイントと資料を使いさがみ野ホームの理念、沿革、概要、現状等について説明を受け、その後、施設内を見学。終了後、集会室に戻り質疑応答をしていただいた。

建物自体は特養の基準をクリアするように造られているとことで、廊下、食堂もとても広く、全体に明るいと感じた。特に「救急隊が動きやすい様に」と話されていたところが「高齢対応」だと感心した。お話を伺っていると、「食事」と「入浴」に支援の多くの時間をかけているように感じた。特浴室があり、座位を保つのが難しい方等が使用している。くすのき苑においても、今後はやはり特浴室を考える時が来ること

は間違いのないと思う。また、職員の動線を考える設計や、新しいシステムや機器の利用など、参考になるところが多々あった。改修や、将来の建て替えの時の参考に出来たら幸いである。

建て替えの構想から完成まで10年以上の年月がかかることがわかった。くすのき苑でも色々なことを始めて行くことが必要なのだと思った。さらに、生活介護の利用者が入所施設の作業をして報酬を得ていることが面白いと感じた。くすのき苑でも障害者雇用を始めたが、ワークショップくすのきとの連携や利用者の日中活動の場の変更も含めて考えてみるのもよいかもしれない。

また、高齢の施設の家族会の在りようを見せていただいた。いちいの会にはワークショップくすのきがあり、今後ワークショップと苑とのバランスが変わっていくこともあり得るので他の施設の家族会の事も勉強して今後の参考にしたいと思う。大変意義のある見学会となった。



苑内研修

主任生活支援員 伊藤 雅章

5、6月の会議時間を利用し、苑内研修を行いました。今年度は研修に参加する職員一人ひとりが考え、意見を出し、それをチームとして活かせるものとしていきたいとの想いから、グループワークを中心とした研修を行いました。

第1回は「事例から、より良い支援に向けて」。現在行っている支援の意味を再確認し、また改善できることはないのか？互いに意見を出し合いながらまとめました。第2回は「理想の職員像とは」。様々な視点から、自分たちが目指す支援者像を共有する機会となりました。

若手職員は素直な気持ちで思っている事を吐き出し、ベテラン職員が意図を伝えたり出てきた意見をまとめたり。またチームで支援するために必要な「周りの意見を聞くこと」も意識して行いました。それぞれに役割を意識しながら取り組んでもらうことで、業務の中だけでは不十分だった「チーム力」を養っていったのではないかと考えています。

私たちの仕事は一人では成り立ちません。たくさんの職員や利用者が関わり、繋がって初めて支援が成り立っています。苦しくなった時や辛い時、自分から助けを求められるよう、そして周りの困り感にすぐ気づけるような職場環境を構築していければなりません。これからも様々な研修を通して皆で考え、生活しやすい、働きやすい環境を作っていければと思います。



くすのき苑 食品加工班

主任生活支援員 佐藤 由美

事業所だより

今年度から食品加工班になり、あっという間に3カ月が過ぎました。現在は利用者5名、職員3名で毎日クッキーやケーキ作りを行っています。利用者さんそれぞれ得意分野、苦手分野がありますが、今年度は、今までとは違って色々なことに挑戦してもらいたいと思っています。新製品を増やしその中で作業工程の幅を広げ利用者さんが今までやっていないことも参加してもらいたいと思います。



今年度は新商品をいくつか作りました。クッキーの他にシフォンケーキやロールケーキも作りました。新しい作業工程が増えましたが、利用者さんは苦手な分野にも自分から挑戦してくれ毎日頑張っています。今後も利用者さんの出来ることを増やしていけたらと思います。

7月から、千葉庁舎にてクッキーの販売が決まりました。お近くの方はお立ち寄り頂ければと思います。どうぞよろしくお願ひします。

ワークショップくすのき

生活支援係長 吉田 和江



ワークショップくすのきでは毎年4月から6月にかけて、利用者さんに希望をお聞きしながら昼食外出を行っています。今年度は、カラオケ・ボーリング・お風呂外出の希望が出ました。

カラオケグループは、シダックス流山東深井店へ。デザートつきのランチを食べながら、歌あり、ダンスありの濃い3時間でした。

ボーリンググループは、昼食は馬車道野田店でピザの食べ放題。その後イオン店内にあるボーリング場で白熱した戦いを繰り広げてきています。

近年希望者が増えているお風呂グループは、御老公の湯境店で露天風呂など22種類のお風呂と美味しい食事を楽しんで来ました。

皆さん行事や工賃を楽しみに毎日仕事に励んでいます。次の大きな行事の予定は9月の「バスで行くイクスピアリ」または、10月の「電車で行くスカイツリー」です。美味しいものをたくさん食べ、利用者さんに喜んでもらえるような一日になるよう只今計画中です。



ICHINOKAI VOL. 48

日光1泊旅行

1日目は江戸ワンダーランド日光江戸村に行きました。周りには着物を来た人がいっぱい。建物も趣があり、江戸時代にタイムスリップした気分を味わうことが出来ました。また、お化粧の体験コーナーに全員で参加し、口紅を塗ってもらったり手にシールを貼ってもらったりして楽しみました。ホテルでは温泉にゆっくり入り、美味しいご飯をたくさん食べてまったり過ごしました。2日目は鬼怒川お菓子の城でお買い物。美味しそうなお菓子がたくさん並び、お土産を選びました。天気に恵まれ、日光の自然に癒された旅行でした。



成田 日帰り旅行

願い届かず、朝から梅雨真っ只中の雨模様でしたが、成田ゆめ牧場に行ってきました。牧場は誰一人いなく貸し切り状態。動物もお部屋でお休みしている中、男

女6人でゆっくりと室内でバーベキューを楽しむことができました。肉や野菜、ベーコン、ソーセージと皆満腹笑顔一杯！おやつに濃厚なソフトクリームも堪能し、土砂降りに負けないとても楽しい旅行になりました。

那須1泊旅行

1日目はお天気雨の中、那須どうぶつ王国に行きました。犬や猫に実際に触ったり、動物が食事している場面やリラックスしている姿を皆笑顔で見て、気に入った動物とのツーショットの写真を撮りました。宿は貸し切りだったため、いつもとは違う場所での泊りですが大はしゃぎしていました。はしゃぎ疲れたのか夜は皆ぐっすりと眠りました。晴天の中、2日目も皆元気よく過ごしました。なかがわ水遊園ではウニやヒトデ、カメに触れました。水遊園の職員さんに教えてもらいながら優しく触ったりして声をあげて楽しんでいました。2日間日頃見ない魚や動物にふれあうことで皆楽しめた様子でした。



いわき1泊旅行

天候にも恵まれ、爽やかな風の中、男7人いわき方面に行っていました。1日目は滴の地下水が織りなす大自然のアート、あぶくま洞内の散策でした。天井が低く、足場の悪い所がある中、足取り軽く軽快に進み、不思議と感動の地底ファンタジーをたっぷり楽しんでできました。2日目はアクアマリン福島という水族館にて、潮目の海をテーマとした800種を超える生物の展示を見てきました。自然光が降り注ぎ、きらめく魚たちに目を奪われた後は、海鮮料理に舌鼓。身体全体で自然を感じ、ゆったりとした時間を過ごしたそんな一泊旅行でした。



江の島1泊旅行

梅雨の中休みなのか、快晴の江ノ島に行ってきました。さすが観光地ということもあり、平日にも関わらず大勢の観光客で賑わっていました。特に海を眺めて食べた「しらす丼」。雰囲気や食事をよりおいしくするというを実感しました。2日間ともに天候に恵まれ、楽しい旅行となりました。今日食べた「しらす」のように、皆に愛される支援者になろうと決意を固めた日でした。



バーベキュー大会

5月2日にBBQを行いました。今年は苑庭の中央に鉄板を置き、自分で取りに行くというスタイルにしました。沢山のお肉と野菜、いなり寿司を食べ、利用者の方達はとても満足そうでした。

生活支援員 片倉 美幸



おすもう観戦

相撲の大好きな利用者さんと、地方巡業を見に行きました。大きな力士の稽古の様子を熱心に見て、テンション高く自分でも土俵入りのポーズをとっていました。一緒に写真を撮ってもらって、とても嬉しそうでした。サイン色紙とTシャツをお土産に購入。帰りも上機嫌で足取り軽く、大変楽しい思い出ができました。

生活支援員 中村 広幸



おひさまといっしょに

今年で44回目になる「おひさまといっしょに」。今年度も数名の利用者さんと参加してきました。様々な競技を行い、笑顔いっぱいの1日でした。受賞式でメダルを受け取った利用者さんがとても嬉しそうでした。

生活支援員 霜田 侑弥



千春さん ありがとうの会

平成12年の開所から一緒に生活してきた瀧脇千春さんが、新しい場所で生活していくこととなり、5月21日退所されました。

くすのき苑でありがとうの会を行い、毎日一緒にご飯を食べたり、作業活動をしてきた利用者の皆さんと最後に楽しい時間を過ごしました。皆からのプレゼントのアルバムを胸にニコニコと微笑む姿が印象的でした。

いつも笑顔で私たちを和ませてくれていた瀧脇さん。新しい場所でもきっと笑顔で毎日を過ごしていることと思います。

第一支援係長 猪野 恭子



職員日記

生活支援員 齋藤 貴子



今年でくすのき苑に勤めて5年目になりました。利用者さんのいろんな表情を見ましたが、やはり笑顔が皆一番素敵です。なかでも一泊旅行や日帰り旅行で、普段と違う場所で過ごした時の表情が印象に残っています。また、家族で旅行に行った方々の話を聞いたり写真を見せて頂き、皆が楽しそうに過ごしている表情を見ました。私は今まで部活で遠出することぐらいしかなかったのですが、くすのき苑に来てから旅行に行く事が好きになりました。一泊旅行や日帰り旅行で色々な場所を探そううちに、行ってみたいと思うことが多くなりました。

1年目は明けの日に唐突に「名古屋に行きたい」と思い、そのまま新幹線に乗り行きました。2年目はテレビを観て箱根特集をしていたので思いつきで箱根に行きました。また、沖縄にも行ってみたいと思行きました。1年目・2年目は思いつきだったので1人で旅行に行きました。3年目は同期4人で京都・大阪に行き、美味しいものを食べながら観光しました。4年目は他の職員と山梨、青森に行きました。5年目の今年は他の職員と大分・福岡に旅行に行く予定です。計画を立てて他の人と楽しむ旅行、1人で自由気ままに楽しむ弾丸旅行、どちらの旅行も楽しい思い出です。1年に1度はどこかに旅行し、47都道府県巡りたいと思います。ただ私は雨女なので、一泊旅行・日帰り旅行を含む上記の旅行中晴れた日が少なかったため、今後は晴れた日に旅行に行きたいと思行きます。

流しそうめん大会



主任生活支援員 山田 宗成

前週までの雨続きが嘘のような、スッキリとした快晴に恵まれた7月11日、くすのき苑の苑庭で毎年恒例の流しそうめん大会を行いました。燦々と照りつける太陽の下、清々しい清涼感を味わえる流しそうめんは、もうくすのき苑の夏の風物詩の一つです。上手にすくいあげる人、下流で溜まったそうめんを待つ人、待ちきれずに流す前から食べ始める人、楽しみ方や方法は人それぞれですが、皆さん笑顔で美味しく頂く事ができました。

グループホーム BBQ大会

GH生活支援員 中山 明日美

5月17日、グループホームの利用者さんとバーベキュー大会をしました。利用者さん21人、お手伝いを含めた世話人さん8人、職員4人、計33人という大人数！梅雨時期ながらも天候に恵まれて、賑やかな雰囲気の中楽しく食事をする事が出来ました。野菜にお肉にウインナーに焼きそば…皆さん思い思い好きなものを食べ「おいしいね！」と満面の笑み。次回もまた、利用者さんが楽しめるようなイベントを企画していききたいと思います。



行事報告

- 4月 法人全体会、お花見、いらっしやいの会 春期帰省 (4/28 ~ 5/6)、1泊旅行
- 5月 1泊旅行 家族会環境整備
- 6月 1泊旅行、日帰り旅行 理事会、評議員会 おひさまといっしょに 家族会環境整備

- 7月 1泊旅行、日帰り旅行 そうめん大会
- 8月 夏季帰省 (8/11 ~ 8/19) 家族会環境整備

あとがき

この度の西日本豪雨で被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。ニュースでは報道されませんが、障害者の方たちがどのように過ごされているか、心配です。この暑さの中で、復旧の為に毎日尽力されている方々に、私たちに何が出来るのかを考えましょう。皆様に笑顔が戻るよう、応援をしていきましょう。

トミカ集めにはまり、所持数が800台は超えている。毎月第3土曜日はトミカの日なので毎月1台は増え続けている。目指せ1000台！と豪語する息子と集める日々が続くのである。(内山)

今年の3月からくすのき苑でお世話になり、今回の広報誌から携わらせていただくことになりました。もっと面白い広報誌になるように色々と取り組んでいきたいと思っています。(葛原)

くすのき祭ご案内 11月4日(日)

楽しい催し物と、美味しい模擬店をご用意いたします。ぜひ、遊びに来てください！！

いちいの会だより VOL.48

発行 社会福祉法人 いちいの会 くすのき苑
〒270-0222 野田市木間ヶ瀬3 1 2 1
TEL: 04-7120-6667
FAX: 04-7120-6668

発行人 総合施設長 清本 健二郎

編集 広報委員会 内山・葛原・中島

発行日 平成30年8月吉日

E-mail kusunokien@nifty.com

H P http://www.ichiinokai.com/